

③ 実態に即した講座作りを目指して ～「ひのっちチャージ」プロジェクト会議から～

平成22年度「日野市子育てマンパワー育成事業 ひのっちチャージ」の企画には、コーディネーターや「ひのっちパートナー」も参加し、講座を組み立ててきました。

(1)「ひのっちチャージ」プロジェクト・メンバーの声



●最初は、子供のトラブル等にどう解決したらいいのか他の「パートナー」に教えてもらうことが多かったのですが、「ひのっちチャージ」で知識を得ながら、理論的にも自分の経験を振り返ることができました。以前より、いろいろな子供にかかわることができるようになり、自信がついてきました。

●「ひのっち」の毎日は、「ひのっちパートナー」のチームで成立っています。みんなが「ひのっちチャージ」で基本を押さえることで、「ひのっち」の運営がゆるぎないものとなっていくと思います。プロジェクト会議は、現場の「ひのっち」と日野市、東京都、東京学芸大学もかかわってよりよいプログラムを作ろうとしているので、今年はレベルの高いものに確実にしたいと思います。

(2)担当者の声 ～日野市子ども部子育て課 課長補佐 佐藤 早苗さん～

「ひのっちチャージ」に参加した「パートナー」が、学んだことを各「ひのっち」に持ち帰って、他の「パートナー」と共有しあったり、いろいろな事例について話し合うきっかけができたことは、「ひのっちチャージ」の大きな成果です。

「ひのっちチャージ」を通じて「ひのっち」の運営をよくしていくために学ぶことの必要性を感じてもらいたいと思うとともに、子供たちと「パートナー」、「パートナー」どうし、「ひのっち」と地域、それぞれのつながりをさらに深めることができるよう日野市の子育てマンパワーを大切に育てていきたいと思っています。



4 「ひのっち」の可能性 ～東京学芸大学准教授・「ひのっちチャージ」担当教員 杉森 伸吉先生のお話から～

「ひのっちパートナー」の平均年齢は58歳ですが、その年代の方々には、子供時代に何でも買って遊ぶのではなく、遊び道具をつくる等の工夫をして遊んでいました。遊ぶ術(すべ)を知っています。このように高齢者などが子供に関わっている地域は、伝承文化が伝わりやすいという傾向があります。

「ひのっちチャージ」のアンケート結果で、「ひのっち」の関係者は、全体的に地域の大人として関わる意欲が高いことがわかりました。「ひのっち」以外でも自治会、子供会、学校で子供と関わっている人が多く、その他でも囲碁クラブ、サッカー指導、ベゴマクラブ、読み聞かせ等のサークル活動、交流会や祭り等のまちのイベントでも子供と関わっています。大人が「地域の大人」として子供と関わっている人が多いと少年非行が少ない傾向があります。このことは、ひいては、安心・安全なまちづくりにもつながることだと思います。



II

「練馬区学校応援団サポート講座 ねりまチャージ」

ねりまの生涯学習マスコット「らぼ」
頭が大根の白い根、体は薄緑の葉、新芽のネクタイ。
「らぼ」は大根を意味する古い中国語です。



①「学校応援団」「児童放課後等居場所(ひろば)事業」とは

目的・理念

学校開放指導員、PTA関係者、町会、青少年委員等の地域住民で構成する「学校応援団」を学校ごとに設置しています。

子供たちや地域のために、地域の方々の知識やパワーを活かすとともに、学校教育に支障がない範囲で学校施設の有効活用を図り、地域の核としての開かれた学校づくりを目指しています。

練馬区では、「学校応援団」が、放課後などの小学校を活用して、児童がのびのびと過ごせる「児童放課後等居場所(ひろば)事業」を実施し、児童の遊び場の確保、異年齢児の交流、読書の推進を図り、子供たちの伸びやかな成長を支援しています。また、学童クラブとの情報交換やイベントの共催等を通じて学童クラブ事業との連携を図っています。

実施場所

区内60小学校(平成23年度は全65小学校で実施予定)の「ひろば室」(視聴覚室や会議室、家庭科室などを活用)、校庭・図書館など

開催日時

学校の授業のある平日
放課後から午後5時まで(冬季は午後4時30分まで)

開催日数

平均121日(平成21年度)

参加人数

延べ208,390人、1日・全教室平均35人(平成21年度)

「児童放課後等居場所(ひろば)事業」を支える人たち

「ひろば」実施時は、登録した地域の人や保護者が、5人程度従事します。平成21年度登録者数、48校1,310名。

◆ チーフスタッフ(コーディネーター)

学校や教育委員会と調整し、活動場所の確保やスタッフの配置・プログラムの企画など「ひろば事業」の円滑な運営を担っています。「ひろば」実施日には、学校との連絡調整や「ひろば」全体的見回り、児童のけがやトラブルの対応等を行っています。

◆ 「ひろば」スタッフ(安全管理員や学習アドバイザー)

受付業務、活動場所の巡回、児童の安全確保、イベント実施、子供の遊び相手等の役割を担うとともに、終了後には、友達どうしや同じ方面に帰宅する児童どうしのグループ下校を促しています。



🌟「学校応援団まつり 大北まつり」

秋晴れのなか、練馬区立大泉北小学校校庭で、児童や保護者を中心に600人以上がおもちゃつきやゲームを楽しみました。

「大北まつり」の開催に向けて、学校、学校応援団、PTA、地域、児童、学童クラブが一体となって準備を進めてきました。また、当日は、近隣の中学校からも、先生方や中学生がお手伝いに来てくれました。